

アクセシビリティ機能について (障害のある方が個別に使いやすいように設定できる機能)

VoiceOver	読み上げ機能	ズーム機能	画面表示を拡大
色を反転	画面表示の色を反転	スピーチ	選択した場所の読み上げ
より大きな文字	文字サイズの変更	アクセカイト	利用アプリを1だけにし、機能制限をする
スイッチコントロール	1つまたは複数のスイッチを使って操作	Assistive Touch	指1本で操作ができる機能

①画面が見にくい人には

ズーム機能、色を反転、より大きな文字に変更

設定 → 一般 → アクセシビリティ

The image shows three screenshots of an iPad's Accessibility settings menu. The first screenshot shows the 'Settings' app with 'Accessibility' selected under 'General'. The second screenshot shows the 'Accessibility' menu with 'Zoom', 'Color Inversion', and 'Larger Text' highlighted with red dashed circles. The third screenshot shows the 'Zoom' settings with the 'Zoom' toggle turned on and a red dashed circle around it. A red arrow points from the 'Zoom' toggle in the second screenshot to the 'Zoom' toggle in the third screenshot. A yellow callout box explains that zooming is done by triple-tapping with three fingers. Another yellow callout box explains that color inversion changes contrast. A third yellow callout box explains that larger text is used for text in specific applications.

ズーム機能
 ズーム機能を使用すると画面表示を拡大できます:
 ・拡大するには、3本指でダブルタップします

3本指でダブルタップすること
 ズームし、3本指で移動します

色を反転。
 コントラストを変更します。

テキストを大きな文字で表示。
 特定のアプリケーションに適用されます。

②読むことが苦手・困難な人には

(a)画面読み上げ機能 (VoiceOver)

設定 ⇒ 一般 ⇒ アクセシビリティ ⇒ VoiceOver ON



画面読み上げ機能です。今指先が触れているのは何か。画面で起きていることのすべてを VoiceOver が説明します。VoiceOver の話す速度やテンポも、聞きやすいように調節できます。

ショートカットで VoiceOver を有効にすると、ホームボタンをトリプルクリック (3回連続して押す) だけで、VoiceOver に ON・OFF が切り替えることができます。



(b) 選択項目・画面の読み上げ機能（スピーチ）

設定 ⇒ 一般 ⇒ アクセシビリティ ⇒ スピーチ ON ⇒ 選択項目の読み上げ ON



ウェブサイト、e-mail、メッセージなどのテキストを選択したい時は、「選択項目の読み上げ」機能を使いましょう。どのアプリケーションでも、テキストをダブルタップするとその部分がハイライト表示されます。VoiceOverをONにしていなくても、「選択項目の読み上げ」機能がハイライト表示されたテキストを読み上げ、カット、コピー、ペーストなどの編集オプションも使えるようになります。



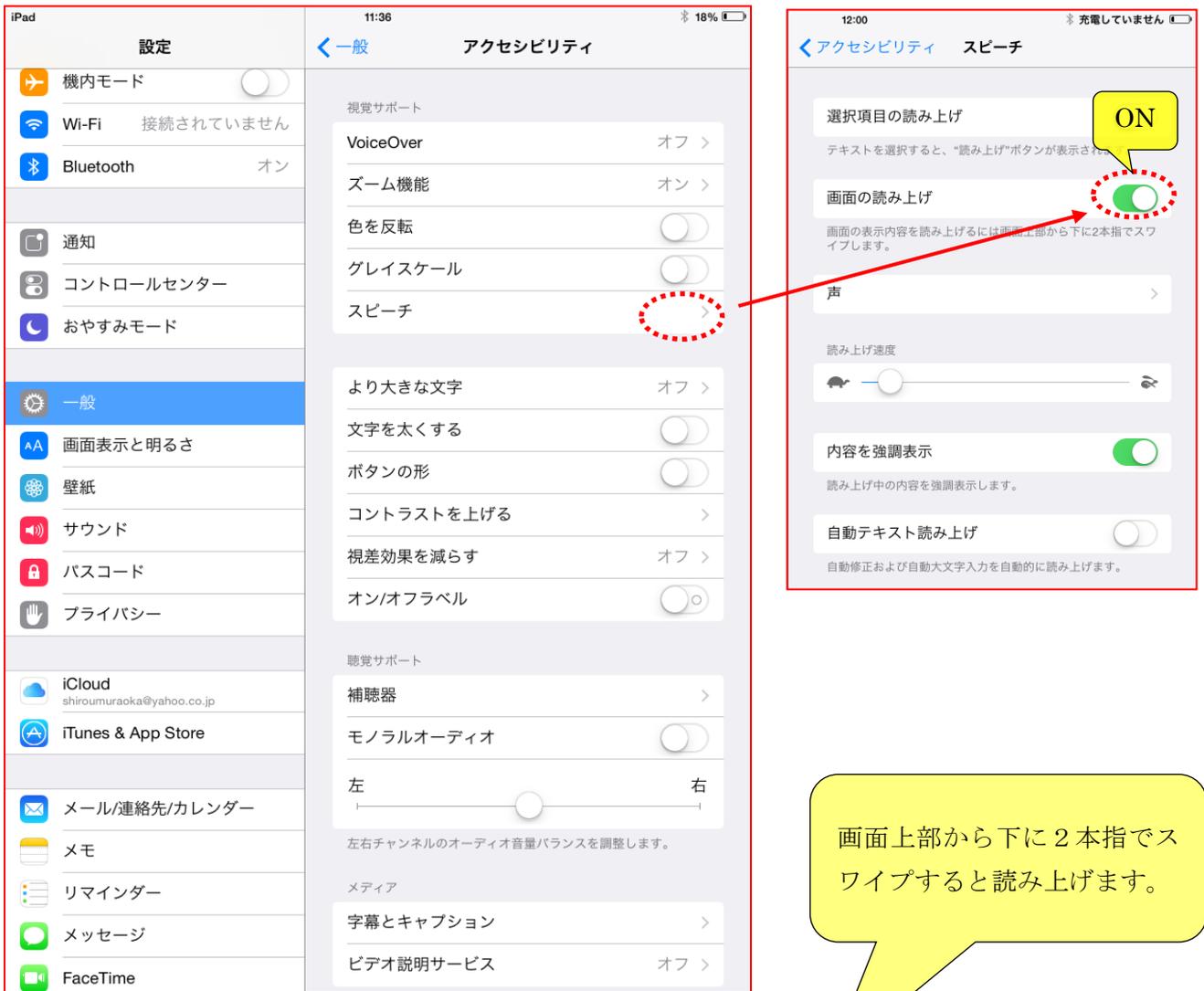
iPad はテキストをタップすると内蔵辞書機能もあります。目的の意味が分からなければ、すぐにインターネット上から検索も可能です。

「選択項目の読み上げ」をONすると「読み上げ」が表示され、「読み上げ」をタップするとテキストを音声で読み上げます。



(c)画面の読み上げ機能（スピーチ）

設定 ⇒ 一般 ⇒ アクセシビリティ ⇒ スピーチ ON ⇒ 画面の読み上げ ON



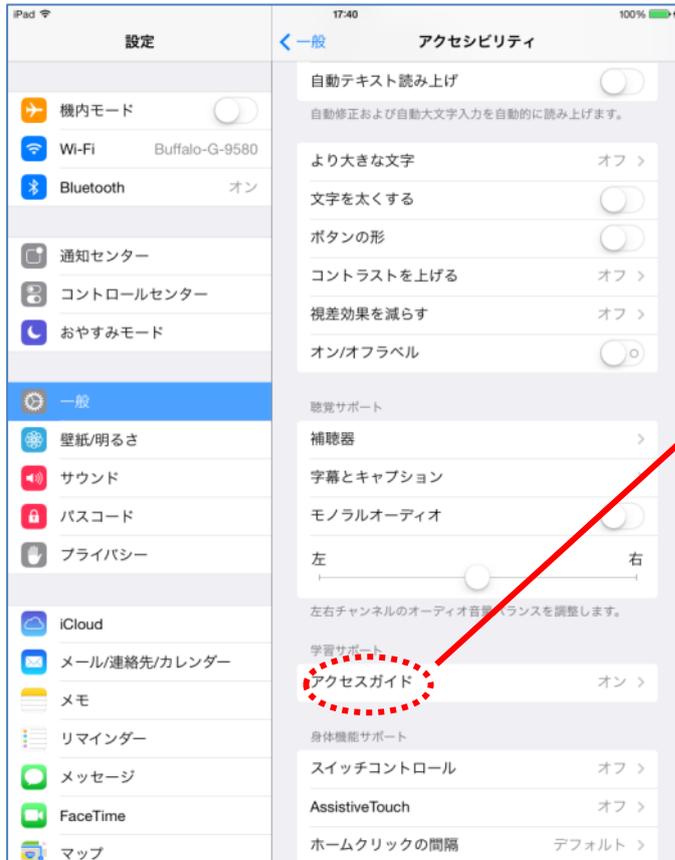
画面上部から下に2本指でスワイプすると読み上げます。



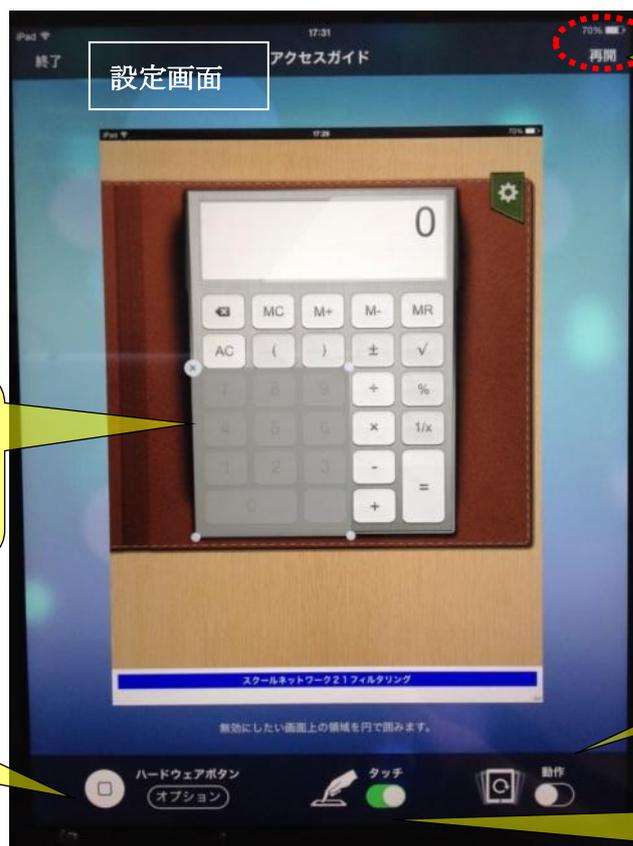
③ 不必要な部分を触ってしまう人には (アクセシビリティ)

iPad で使えるアプリが1つだけになり、どの機能を利用できるかを管理できます。

設定 ⇒ 一般 ⇒ アクセシビリティ ⇒ アクセシビリティ ON



設定・終了するには、使いたいアプリでホームボタンをトリプルクリックします。



タップを無効にしたい場所を、指を使って円で囲むと設定されます。

スリープ、ボリュームボタンの設定

ここをタップすると開始します。

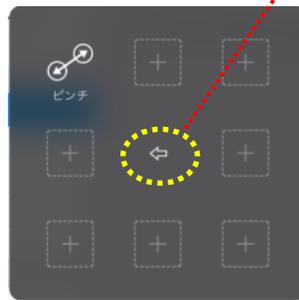
OFF にすると、画面が回転しません。

OFF にすると、タップ操作ができません。

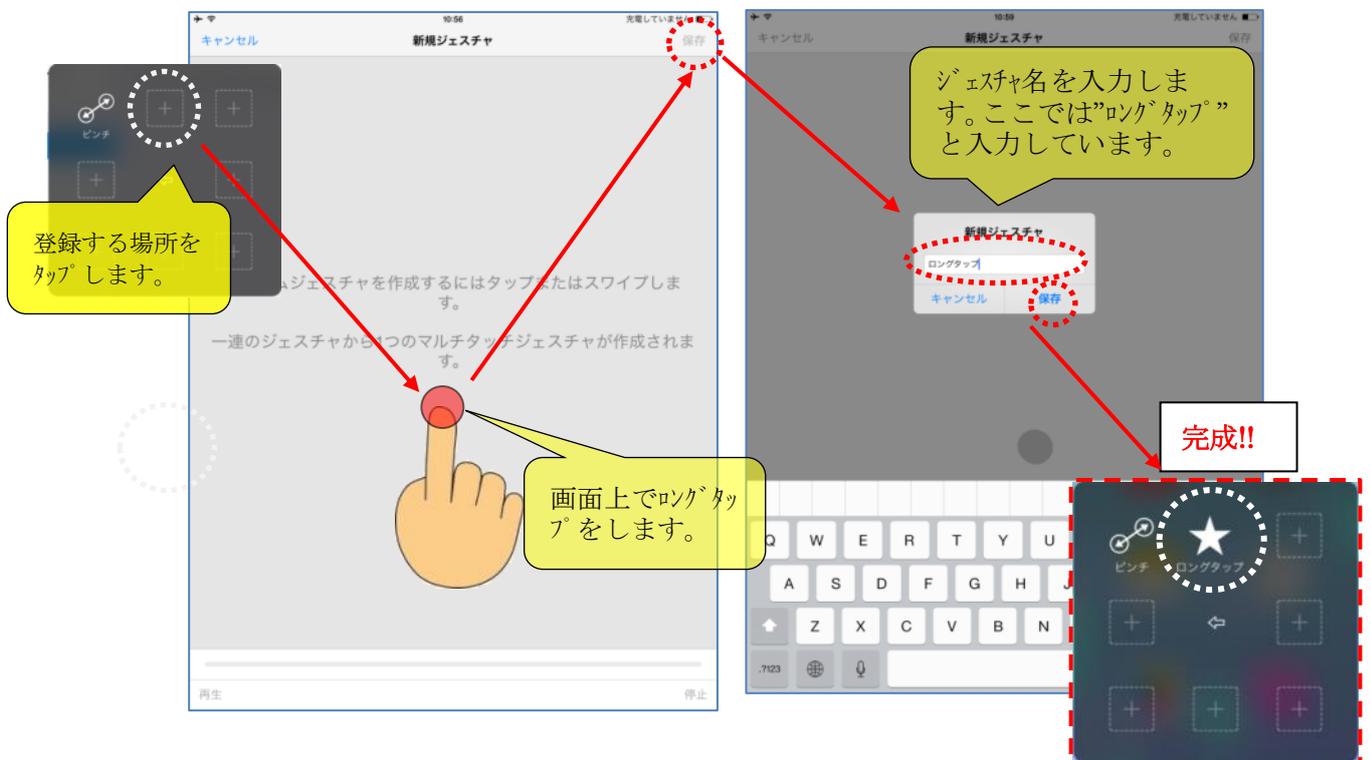
④指の操作が苦手な人には (Assistive Touch (アシスティブタッチ))

ボタンを押したり、画面上での複雑な操作をしたりすることが困難な方の為の機能です。

設定 ⇒ 一般 ⇒ アクセシビリティ ⇒ Assistive Touch ON



新しいジェスチャを作成 (ロングタップを作る)

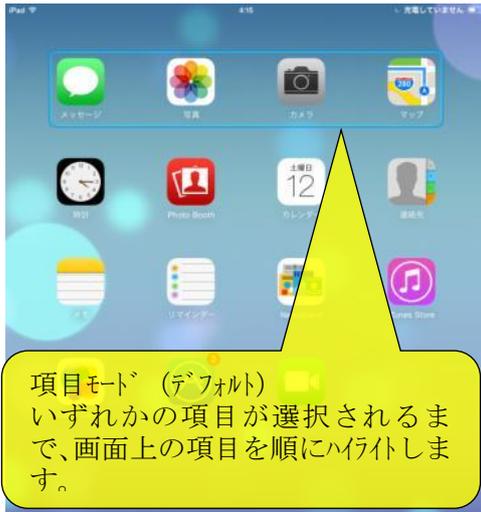


⑤手の操作が苦手な人には (スイッチコントロール)

設定 ⇒ 一般 ⇒ アクセシビリティ ⇒ スイッチコントロール ON

スイッチコントロールでは、1つのスイッチまたは複数のスイッチを使って iPad を操作できます。いくつかの方法を使って、選択、タップ、ドラッグ、入力などの操作を実行できます。フリーハンドで描くこともできます。スイッチを使って画面上の項目または場所を選択してから、同じ（または別の）スイッチを使ってその項目または場所で実行するアクションを選択します。基本方式は、項目ハイライトモード・ポイントハイライトモード・手動選択の3つです。どの方法を使う場合でも、各項目（グループではなく）を選択すると、選択した項目でどんなアクションをするか（タップ、ドラッグ、ピンチなど）を選択できるメニューが表示されます。

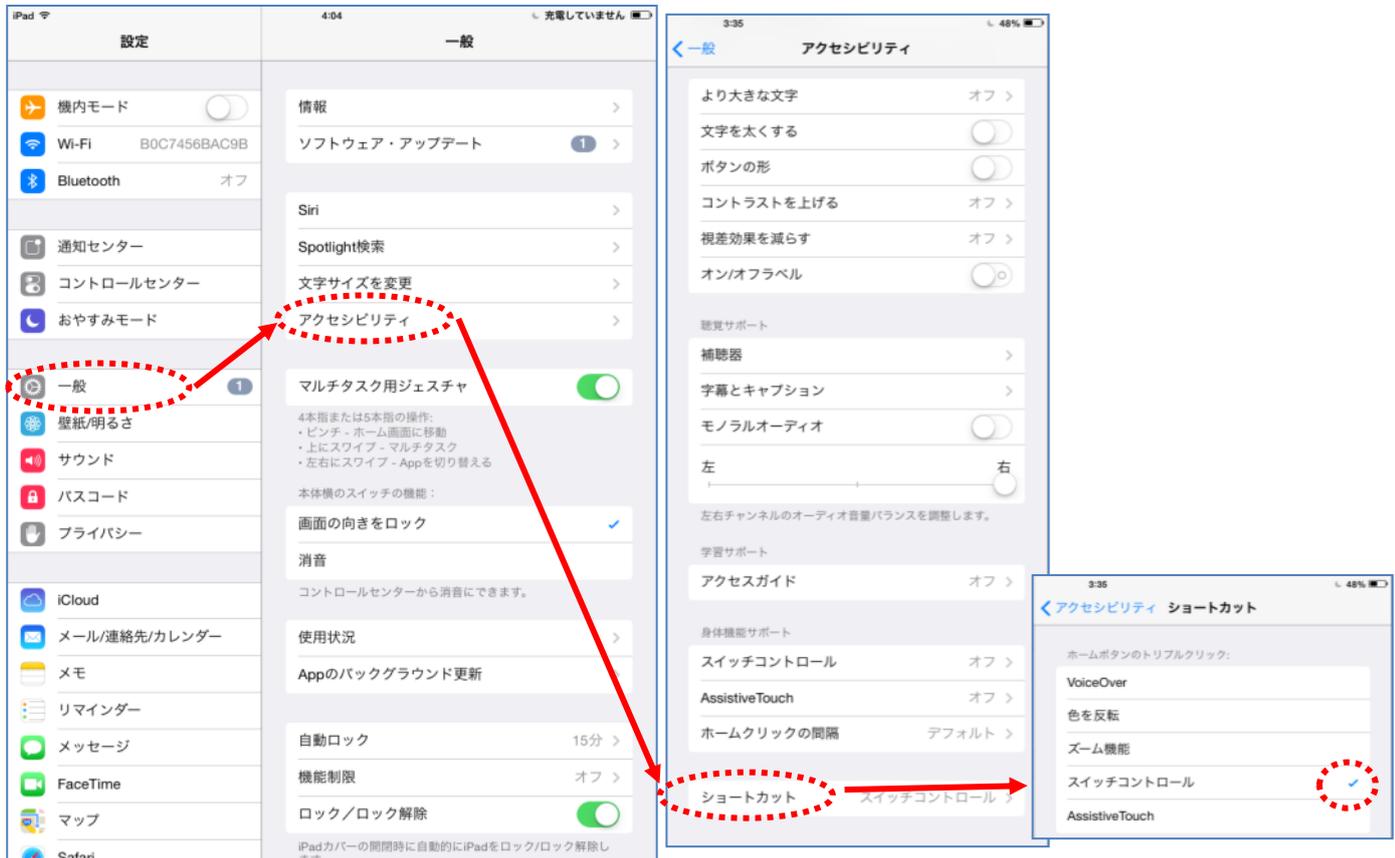
スイッチコントロールの動作は、特定のニーズやスタイルに合わせてさまざまな方法で調整できます(ややこしいです!)



その他
手動選択
手動で項目間を移動できます (複数のスイッチが必要です)。

最初にスイッチコントロールを ON にする前にショートカットにスイッチコントロールを登録しておきます (ホームボタンのトリプルクリックでスイッチコントロールから抜け出すことができますようになります)。

設定 ⇒ 一般 ⇒ アクセシビリティ ⇒ ショートカット ⇒ スイッチコントロール にチェックを入れます。



(a) キーボード (Bluetooth 機器) を使ったスイッチコントロール

BluetoothをONにしておきます。 **スペース** キーを押すと項目を選択、 **shift** キーを押すとホームボタンを選択するように設定します。

外部：Bluetooth 機器等によりスイッチが入ります。
画面：画面をタップするとスイッチが入ります。
カメラ：頭を動かしてスイッチを入れます。

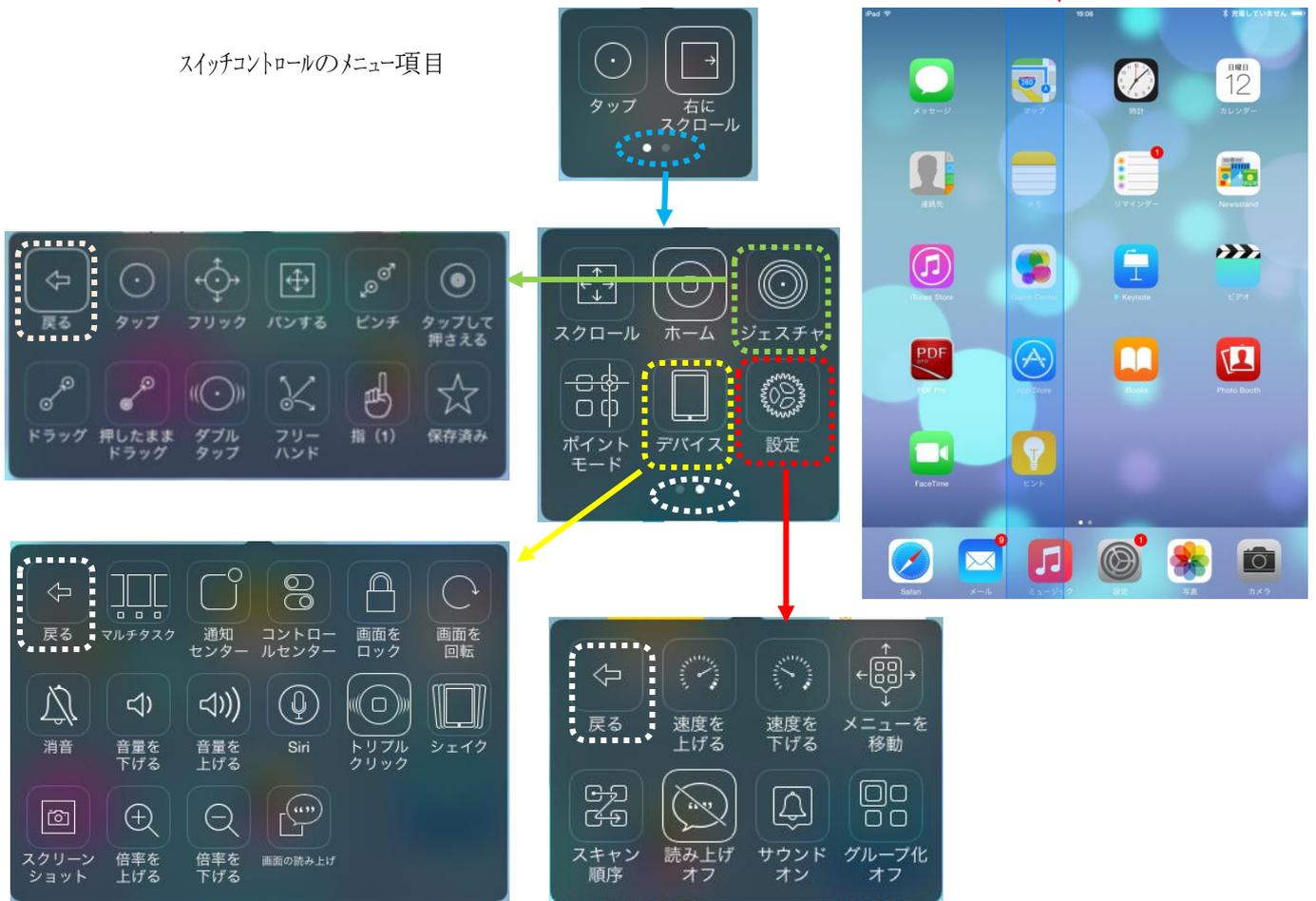


初期状態では項目モードになっているのでポイントモードへ変更するには、以下のように変更します。

※前ページの様にキーボード（Bluetooth 機器）を使ってのスイッチコントロールでの続きです。



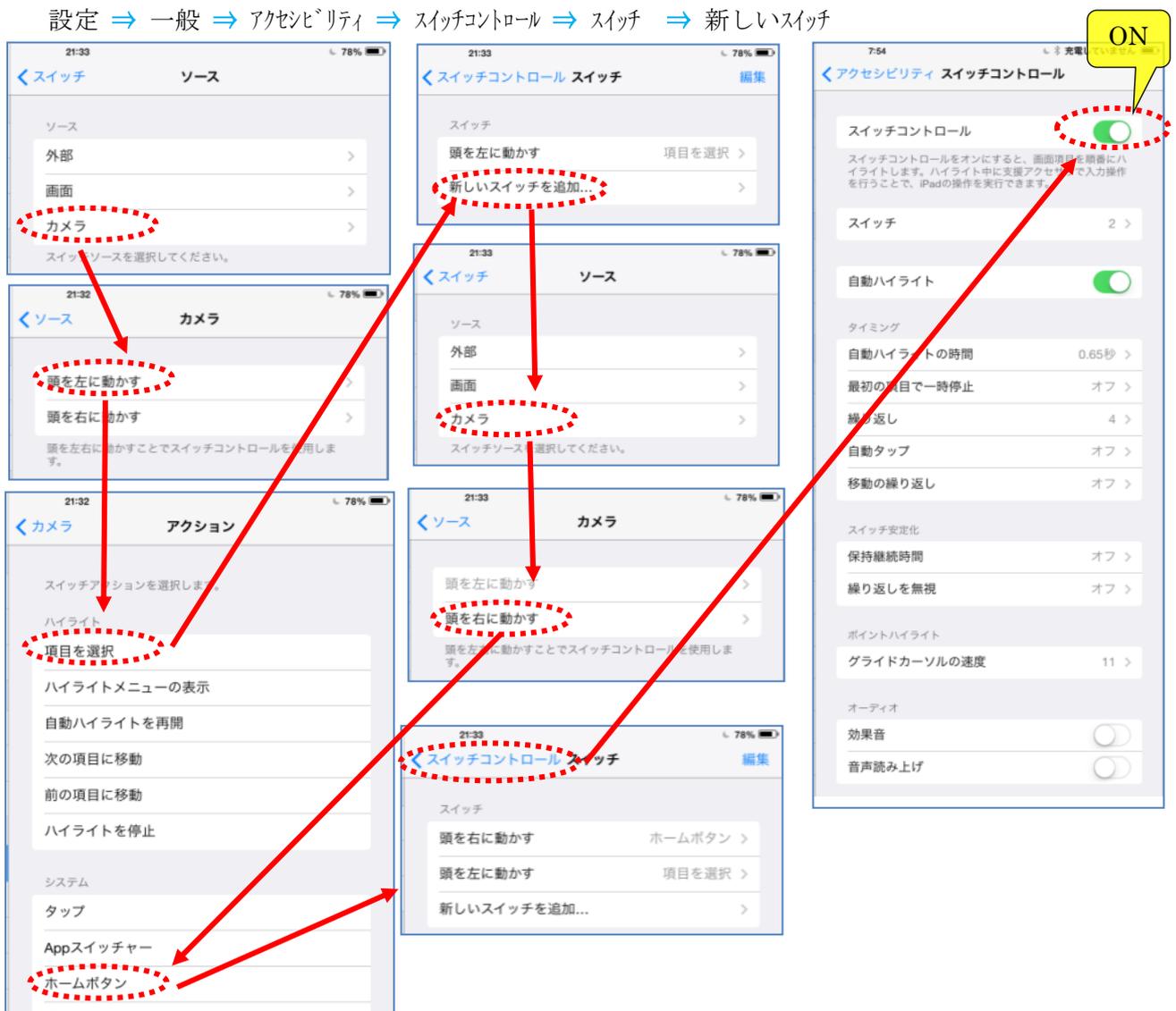
スイッチコントロールのメニュー項目



(b) 頭を動かしてのスイッチコントロール

頭を左に動かして “項目を選択” 頭を右に動かして “ホームボタン” に設定します。

設定 ⇒ 一般 ⇒ アクセシビリティ ⇒ スwitchコントロール ⇒ スwitch ⇒ 新しいスswitch



(c)画面上の任意の位置にスイッチを貼り、そのスイッチによるスイッチコントロール



指のかわりに外部スイッチで iPad などのタッチパネルをタッチするためのエントもあります。写真で示している iPad タッチャーは静電エントを置いたところのみタッチ可能です。

たとえば、iPad カメラアプリのシャッターのアイコンのところに貼り付けることにより、外部スイッチでシャッターを切ることができます。

iPad のスイッチコントロールのスイッチとしても動作可能です。

(スイッチソースをフルスクリーンに設定)

